



Light Up Rotary

第2780地区
大磯ロータリークラブ



2014～2015年度RI会長
ゲイリー・C. K. ホアン

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

★事務所：神奈川県中郡大磯町国府本郷546大磯プリンスホテル内 TEL：0463-61-1111(木) TEL/FAX：0463-36-2255

★例会：毎週木曜日 12:30～13:30 大磯プリンスホテル TEL：0463-61-1111 FAX：0463-61-6281

会長 守屋 紀忠

会長エレクト 河本 親秀

幹事 井上 浩吉

第2318回 例会 平成27年3月5日 (晴) No.32

■司会：大藤 勉

■点鐘：守屋 紀忠

■合唱：君が代・奉仕の理想

◇プログラム ・3月12日：守屋紀忠さん ・3月19日：休会(定款適用) 3月26日：夜間例会

◇出席報告	例会	会員数	出席数	出席率	メークアップ	修正出席率	◇欠席者(5名)
	2318回	18(16)	11	68.75%	—	—	小林、宮澤、石山、鈴木、原さん
	2316回	18(16)	8	50.00%	—	—	◇メークアップ(0名)

◇おめでとうございます



誕生日祝：

大藤勉さん(3/8)

昭和33年生まれ
57歳です。同年には東京タワー=昭和33年に合わせて333メートル=が出来た年です。最近
は東京ツリー=634

メートル=が出来、語呂合わせでムサシ。

お祝い有り難うございました。

◇会長報告

守屋 紀忠会長

1. 理事会報告：3/5モロキニにて開催
1) 「なぎさの祭典」には今までうちわ配りをしていたのですが、次年度はタオルを配ることになりました。詳細見積り、見積り合わせはこれから行うことにしています。タオルには大磯町のシ



ンボルである2羽の青鳩(イソベエとアオミ)を入れることにしています。

1) 職場見学：詳しくは新宅さんから報告がありますが、厚木の介護ロボットを見学に参加します。

(4月9日)

3) 第2回・第8グループの女性ロータリアン、女子事務員の研修会が開催されます。会費を研修費から支出します。

2. 米山奨学生の世話クラブとカウンセラー引き受け：

奨学生の氏名：アルウィン・スプリアント

国籍・性別：インドネシア・男性

大学：東海大学・修士課程2年生

奨学期間：2015年4月～2016年3月

カウンセラー：新宅文雄さんをお願い。

◇幹事報告

井上 浩吉幹事

1. 地区研修協議会開催の案内

日時：2015年4月19日(日)

場所：県立保健福祉大学

2. 例会変更：寒川RC

3. 2015年国際ロータリー年次大会(サンパウロ大会)参加旅行募集案内



◇一言：大磯の歴史=鳴立沢の名称

「しぎ」は「鳴」か「墓標」か？

井上 浩吉さん

西行法師が「心なき 身にもあはれは知られけり
しぎ立沢の秋の夕暮」と詠ったのは頼朝が石橋山合戦で敗戦してから5年目であります。このしぎ立沢という名称について話したいと思います。

私の考えですので正しいかどうか分かりませんが、非常に興味があるので調べました。このしぎ立沢というのは鳥が飛び立つ沢なのか、戦没者を埋めた墓標が立つ沢であったのか？考えるところであります。

大淀三千風が元禄8年大磯に来て「しぎ立庵」を再興した時に、彼は「鳴立沢」に拘ってありまして、これは墓標ではないんだ、鳴が立つ沢だ、鳥の鳴だと頻りに書いて残しています。これがどうも眉唾で、西行の「心なき・・・」の歌の中でしぎ立沢の「しぎ」は鳥の鳴を使ってない感じがします。但し書きに「ものへまかりける道にて」とある。学者によって色々解釈が違うようでありまして、ちょっとそこまで出るといっては東北の旅には当たらないのではないかと。私はこの「しぎ立つ沢」というのはこれを墓標にしたらこの「心なき・・・」の歌が凄く凄惨な歌になるのではないかと？西行くらいの方が鳥の鳴が立つ夕暮れを見て、「心なき身でありながら心が動くと言うことはあり得ない」のではないかと私はそう解釈しております。

◇委員会報告

☆スマイルボックス

・守屋紀忠さん：大藤さん誕生日おめでとうございます。

・井上浩吉さん：大藤さん誕生日おめでとうございます。守屋会長卓話よろしくお願ひ致します。

・笹尾政儀さん：大藤さんを誕生祝を祝福します。守屋さん卓話楽しみです。

・斎藤好正さん：久しぶりです。宜しくお願ひ致します。

・百瀬恵美子さん：大藤勉さんお誕生日おめでとうございます。守屋さん卓話たのしみです。

・新宅文雄さん：守屋会長卓話楽しみです。大藤さん誕生日おめでとうございます。

・大藤勉さん：誕生祝ありがとうございます。57歳になりました。今後ともよろしくお願ひします。



笹尾 政儀さん

☆河本 親秀さん：



1. 平塚RCの大塚健治さんのお通夜に会長代理で参列しました。新宅さんも一緒でした。とても顔の広い方なので、生花が150以上供えられ、参列者も大変多く、河野洋平氏、河野太郎氏、平塚市長なども列席されていました。大塚さんは私が19年前、ガバナーの時のガバナー月信担当地区副幹事を務めて頂いた方です。当時大磯の片野地区幹事を始め新宅さんを入れて7人の副幹事さんがおられましたが現在健在でロータリーに在籍されている方は新宅さんのみの寂しい状況になりました。

2. 昨日藤沢商工会館にてPETSがあり、出席してきました。10時~19時まで熱心な勉強会でした。二宮の会長は山室さんで彼も私同様3回目です。2度目の方も相当数おられるようです。沢山の資料と情報を貰ってきました。次年度が始まるまでよく読み込んでから皆さんにお伝えします。

3. ハワイ・ワイアナエコーストRCのケイ・バクスターさんから大磯RCよりのハワイロータリー100記念式典出席者のホテルをホノルルかマカハ(WCRCのある町、ホノルルから車で40分)にするか？何部屋とればよいかを尋ねてられました。

☆斎藤 正淳さん：

・大学1年生になった私の孫が「お爺ちゃん植えたミモザが咲いたら見に行きたい」というので、昨日連れて大磯に参りました。プリンスホテルにも植えてありますが小さい。大磯駅前のものは井上さんのご紹介で植えさせて貰ったミモザは大きく育ち、その花の前で写真を撮って帰りました。面目を施しました。「俺が死んだら墓の代わりにこれを見に来るようにと・・・」。



・先日「徹子の部屋」という番組を見ていたら、京都大学の山中教授とIPS細胞の話が出て、研究資金が足りないと言うことを知りました。電話して聞いてみましたら、1年に3~5億円が集まっているとのことでした。それなら私もハリコンで寄付をしようと思っていました。そしたら丁度、私が貸してました大磯の診療所が5月に明け渡されることになったので、これを売って、全額+幾何かを山中教授に寄付したいと思っています。もし、どなたかご紹介などお世話を頂けたら有り難いと思います。

☆新宅 文雄さん：

先ほど会長報告にありました職場訪問の件日時：4月9日（木）14:00-14:30
現地集合
場所：厚木住宅展示場



大和ハウスと神奈川県提携で普通の家にロボットを入れたらこうなりますよというところを皆さんに見ていただく。

案内担当者は相模ロボット特区推進センターの長沢さん。

例会終了後車に分乗して行きます。

☆SAA大藤 勉さん：



バレンタイン・ホワイトデーで女性3人=百瀬さんと事務局の手塚さんに花束を贈呈します。（会長、幹事より）太田さんには別に自宅へ送ります。

◇ 卓 話

◆◆◆今なぜ農協改革か？◆◆◆

守屋 紀忠さん



配付資料

日本農業新聞特集号=農協改革主な内容

1. 農協法改正による組織の見直し：

JA全中→一般社団法人へ

監査機能を分離する

JA監査はJAの監査法人か一般の監査法人を選択できる

都道府県中央会→連合会へ

JA全農・経済連→株式会社に変更可能

JA厚生連→社会医療法人に変更可能

2. 農協に関する改革の推進について

1) 中央会

①組織のあり方

②JAの監査

③破たん未然防止機能

2) JA

④理事の資格要件

⑤準組合員制度

⑥農協の事業目的

3) 連合会

⑦全農・経済連

⑧厚生連

①～⑧の項目毎に法制度の改革骨格の概要を掲載。

（資料は以上）

守屋さん作成資料

農業協同組合組織図（昭和22年11月発足）

全国連構成連合会

- ・全国農業協同組合中央会
- ・農林中央金庫
- ・全国農業協同組合連合会

- ・全国共済農業協同組合連合会
- ・全国厚生農業協同組合連合会

都道府県連

- ・各都道府県中央会
- ・同 信連
- ・同 経済連
- ・同 共済連
- ・同 厚生連

市町村単位農協

- ・総合農協

その他全国連合農業協同組合（専門農協）

- ・全国開拓農業協同組合連合会
- ・全国養蚕 同
- ・日本園芸 同
- ・全国酪農業 同

（資料は以上）

農協改革が声高に政府から出ています。農業者からも今の体制には問題があると言われていました。今の組織は3段階制です。市町村の単協（農協）が集まって作られたのが県連、又その上に国連がある。近来市町村合併で単協が合併し広域農協になり、県協は要らないのではと言う意見が増えてきている。

資料に基づき各組織の業務について説明がなされました。正にゆりかごから墓場まで面倒を見る業務が整っていますね！！

農協の誕生・変遷

昭和22年11月にGHQや政府の後押しで農業協同組合の法律が出来ました。農業協同組合はこの農協法のもとに農民を会員として誕生した。会費は100~200円、多くても300円でした。単協の規模が小さく人手不足、肥料不足などで作物も多くとれなかった。又農地解放で大地主がいなくなったこともあり、資金不足で困った農協が多く出ました。それを支援指導したのが県連で、戦後の食糧不足の時代の食糧増産、供出に協力させられ、国民の飢えをしのいだ。

朝鮮動乱から日本の景気が回復し、昭和30年代になると、経済が成長して農村の余剰人口が都市へと流出して三ちゃん農業=じいちゃん、ばあちゃん、かあちゃん=と言われる時代へ。その後農村も畜力から機械化の時代へと行っていき、昭和40年代になると、肥料、飼料、農薬が充実して、食糧増産が出来、国民に食料が十分に供給出来るようになった。そこへ来ると今度は農地をどのように有効利用するかという構造改善事業が政府から提唱されて、果樹

の増産等穀物以外の生産が奨励された。それを指導するのが農協で、県には農業普及員がいて指導奨励した。

食料が十分供給できるようになった途端、国民一人あたりの米の消費量が減り米余り現象が出て、減反政策へと行って行きました。これに農協が携わってきたのが現実です。

又、40年代半ばに宅地化が急増した。政府は乱開発するのを防止するために昭和43年に新都市計画を公布した。これによって市街化区域と市街化調整区域に区分された。これに農協が関わってきました。それぞれの時代に農協は必要でしたが、今では肥大化の傾向がありまして、下の声が上に伝わらない。農民層にも矛盾が出てきています。米余り現象の中で秋田県の大潟村の入植者が米を作らなければダメというように規制されてやっていたということは矛盾だだと思います。全国の開拓地は全部そうになっているのは可笑しいと思います。

これだけ（硬直化した農業政策・指導）ではないんでしょうが、今年度になって安倍政権が農協改革を言い出しました。

（その内容を配付した新聞資料に基づいて説明がありました。）

単位農協については殆ど従来と変わりはありません。昔から農民は政府が言っていることと反対のことをした方が良いと言っていました・・・（笑）。私も改めなければならないところはあると思います。しかしこの法改正が直ちに農業者の所得増大と地域の活性化に役立つかどうかには少し疑問が残ります。

以上

